(C)南日本新聞社　無断での転載、改変、複製、頒布を禁止します

つかめ夢切符

川内

経験不足 精度で補う

1、2年生チームで大会に臨む。経験不足を攻守の精度アップでカバーする。センターバックの岩切、横山を軸に、中盤も含めた守りで相手の自由を奪い、MF山本へつないでサイド攻撃に展開したい。

予選を通じて選手同士の距離感覚が向上、少ないボールタッチで攻撃を組み立てられるようになった。突出した選手こそいないが、全員が攻守に参加して勝機を狙う。4強入りが目標だ。

出水中央

判断力を磨き手応え

春のスペイン遠征や、プリンスリーグで経験を積み、指揮を執って5年目の近野隼人監督は「これまでで一番いい」と手応えを語る。突破力のある右サイドの東郷がキーマンとなる。技術とともに判断力を磨いてきた。「ボールを奪う、ゲームを読む力など、チーム全体で高まってきた」と近野監督。県新人大会、県総体と8強に終わったが、「準決勝でもいい勝負ができるはず」と自信を見せる。

大口

県総体4強 再現狙う

県総体では22年ぶりに4強入り。立役者となった3年生が主体だが、一時期チームを離れたため、体力面でやや不安が残る。身体能力の高いGK満園、DFラインの小川、中玉利が経験を武器に守備を引き締める。攻撃はスピードと豊かな鳥巣が中心。ポストプレーにたけた南を1トップに置き、堅守から速攻を仕掛ける。得点力の高かったサイドバックの穴を埋め〝大口旋風〟の再現を狙う。

鹿児島城西

華麗パス 今年も健在

九州新人大会王者が3年ぶりの全国を狙う。代名詞の華麗なパスサッカーは今年も健在。攻守のバランスに優れ、さらに球際の強さも加わった。視野の広い主将松尾を中心にピッチ幅を広く使い、質の高いクロスを2トップ薗田、栫に供給する。強烈なシュート力を持つ左サイド有村の故障は不安材料だが、控えの選手層も厚い。坂元を中心に守備も万全。県総体で神村に屈した雪辱に燃える。

川内商工

俊足生かし堅守速攻

地区予選は4試合で57得点と、攻撃陣が爆発した。昨年のような1人でキープも突破もできるFWはいないものの、前線には真ん中の豊重ら俊足選手がそろう。チームコンセプトの「堅守速攻」の通り、しっかり守ってカウンターで得点したい。守備は主将井手上が中心。染川隆二監督は「まずは失点をしないように、カウンターでもセットプレーでも1点を取って勝ちたい」と狙いを語る。

国分

アイデア多彩な攻撃

パスワークのよさが持ち味の1、2年生チーム。U−16日本代表候補にもなった穂園政と、新地のMF2人が攻撃の起点になる。本村正徳監督が「マイボールにするとスイッチが入り、いろいろなアイデアを出してくれる」と期待する多彩な攻撃が魅力。守備は経験豊富な林、玉城が支える。全員攻撃・全員守備をモットーに、県総体で準優勝した昨年の先輩たちを超えることを目指す。

加治木工

初戦に全力 4強視野

1対1に強いGK松浦と、上背はないが空中戦に強いセンターバックの主将丸田が守備の中心。攻撃では、前線で起点となる中小路に、ドリブルなど技術の高い大川内やセンス抜群の厚地が絡む。ボランチの横井は決定的なパスを配球、ミドルシュートもある。県新人大会、県総体ともに8強と力は安定。4強以上も視野に入れつつ、平岡新吾監督は「気を抜かず、初戦に全力を注ぐ」と意気込む。

加治木

堅守から速攻に活路

「組織的に守れるようになってきた」と五領壮太監督。センターバックの安田と下野は、ともにボランチからコンバート。鋭い読みで相手攻撃を封じる。悩みは得点力不足。FW田中は経験が浅い分、伸びしろに期待できる。スピードのある主将阿瀬知がサイドを駆け上がる。中盤は唯一の3年生・竹原が引き締める。初戦の相手は強豪・松陽。堅実な守りから鋭い逆襲を仕掛けたい。

鹿屋

長身ぞろい好機演出

「走る、考える、戦う」がモットー。1、2年生だけの守備重視型で、少ない好機を生かして得点する。主将福園、有村らDFを中心に長身選手がそろい、セットプレーからも得点機を演出する。「飛び抜けた選手がいない分、全員プレーで勝ち抜く」と就任1年目の下窪和幸監督。順当に勝ち抜けば、昨年の選手権予選、5月の県総体の雪辱戦が続く。初戦突破で勢いに乗り、4強進出を目指す。

鹿屋中央

休部越え久々の出場

過去に県新人大会4強の実績を持つ。約10年の休部状態を経て、再開後初の出場を果たした。トップとサイドのスピードを生かしたパスサッカーが持ち味。司令塔の小牧は視野が広く、左足から正確なパスを送る。主将のFW枦木は技術とスピードを兼ね備え、森とともにゴールを狙う。長友、向井が両サイドを駆け上がる。守備は益山が中心。体を張った気迫あふれるプレーで、攻撃をはね返す。

尚志館

大隅勢初Vを目指す

前回は16年ぶりに4強入り。新人大会も4強を守ったが、県総体は8強で終わった雪辱を期す。夏場に40〜50試合をこなした反動から調子を落としたが、ようやく復調してきた。両サイドの貴島、村中のスピードを生かした攻撃が持ち味。1年生ながら得点力の高い児玉を最前線に置く。長身の永吉晃をFWからセンターバックにコンバートし、高さへの備えも万全。大隅勢初の頂点を目指す。

隼人工

徹底した組織的守備

地区大会では、4試合で26点を奪う攻撃力を見せつけた。だが、米澤健矢監督は「初戦の出水中央戦は守備重視にならざるを得ない」。相手の動きをブロックする練習を重視。1対1で危険を犯さず、複数でボールを奪う組織的守備を徹底する。昨年の招待サッカー県選抜に選ばれたFW山元が、速さを兼ね備えたドリブル突破で反撃を狙う。念願の1勝を目指し、鋭いカウンターに全てをかける。

岩川

全員残留の3年 闘志

3年生が全員残り、最後の大会に燃える。守備意識が高いチームで、カバリングと高さに優れる吉國、人に強い林のセンターバックコンビが守りを支え、予選では失点1に抑えた。相手守備が整う前に攻め込む、堅守速攻がチームの持ち味。〝ワントップの馬原、トップ下を支える湯田、運動量豊富なサイドバック吉岡が攻撃を組み立てる。頭、心、身体を動かし続けるサッカーがモットーだ。

種子島

対シード初戦に全力

県大会出場は3年ぶり。予選は無失点。高い位置から粘り強く守り抜き、MF三窪を起点にカウンターで攻め上がるのが勝ちパターン。初戦の相手はシード鹿城西だが、郷田良文監督は「選手たちも気合が入っている。守るだけではない、自分たちのサッカーを見せたい」と力を込める。最高成績は旧種子島・種子島実合同のベスト8。初戦突破を果たし、一戦必勝で最高成績を目指す。

与論

気持ち前面に初戦へ

3年生2人が中心。大石友が攻撃の起点になり、DFラインを大馬優が統率する。小島健志監督が「もともと力はあるが、やっと気持ちを前面に出すようになった」と成長を認める1年生が支える。チームは昨年の県総体で8強入り後、人数不足の時期もあって県大会で1勝も挙げていない。「高校サッカーは気持ちの強いほうが勝つ」がモットーの監督のもと、若いチームがまず初戦突破に挑む。

全国高校選手権 鹿県勢の歩み

第22回(1940＝昭和15＝年)　鹿児島商が南九州代表。県勢初

出場		商 0−12 青山師範	(東京)
28回 (50年)	▽1回戦 鹿	丸 0−2 都立九	(関東)
29回 (51年)	▽1回戦 鶴	丸 0−1 札幌西	(北海道)
35回 (57年)	▽1回戦 鶴	丸 1−6 喜連川	(北関東)
36回 (58年)	▽2回戦 鹿	商 0−6 藤枝東	(静岡)
44回 (66年)	▽1回戦 出	水工 0−5 新島学園	(北関東)
49回 (70年度)	▽1回戦 鹿	工 0−3 藤枝東	(東海)
50回 (71年度)	▽1回戦 鹿	工 1−2 松本県ケ丘	(信越)
52回 (73年度)	▽2回戦 鹿	商 1−2 児玉	(埼玉)
54回 (75年度)	▽1回戦 鹿	工 1−1 韮崎 (PK6−7)	(山梨)
56回 (77年度)	▽2回戦 鹿	商 0−1 帝京	(東京)
57回 (78年度)	▽2回戦 鹿	実 0−3 愛知	(愛知)
58回 (79年度)	▽1回戦 鹿	実 1−4 今市	(北関東)
59回 (80年度)	▽2回戦 鹿	実 0−2 岡崎城西	(愛知)
60回 (81年度)	▽2回戦 鹿	商 2−3 韮崎	(山梨)
61回 (82年度)	▽2回戦 鹿	実 0−1 盛岡商	(北奥羽)
62回 (83年度)	▽2回戦 鹿	実 1−3 清水東	(静岡)
63回 (84年度)	▽1回戦 鹿	商 1−1 武南 (PK4−5)	(埼玉)
64回 (85年度)	▽準々決勝 鹿	実 0−2 四日市中央工	(三重)
65回 (86年度)	▽3回戦 鹿	実 0−2 室蘭大谷	(北海道)
66回 (87年度)	▽2回戦 鹿	実 0−1 旭	(神奈川)
67回 (88年度)	▽2回戦 鹿	加治木工 0−1 水戸商	(茨城)
68回 (89年度)	▽準々決勝 鹿	実 0−1 武南	(埼玉)
69回 (90年度)	▽決勝 鹿	実 0−1 国見	(長崎)
70回 (91年度)	▽準々決勝 鹿	実 0−1 帝京	(東京)
71回 (92年度)	▽3回戦 れいめい	0−1 四日市中央工	(三重)
72回 (93年度)	▽準決勝 鹿	実 2−2 清水市商 (PK4−5)	(静岡)
73回 (94年度)	▽準々決勝 鹿	実 0−0 帝京 (PK3−4)	(東京)
74回 (95年度)	▽決勝 鹿	実 2−2 静岡学園 (両校優勝)	(静岡)
75回 (96年度)	▽準々決勝 鹿	実 0−0 徳島商 (PK1−4)	(徳島)
76回 (97年度)	▽2回戦 鹿	実 1−4 前橋商	(群馬)
77回 (98年度)	▽2回戦 鹿	工 1−3 遠野	(岩手)
78回 (99年度)	▽決勝 鹿	実 0−2 市船橋	(千葉)
79回 (00年度)	▽3回戦 鹿 城西	1−4 青森山田	(青森)
80回 (01年度)	▽準決勝 鹿	実 1−4 国見	(長崎)
81回 (02年度)	▽2回戦 鹿	実 0−1 鹿島	(茨城)
82回 (03年度)	▽準決勝 鹿	実 1−2 筑陽学園	(福岡)
83回 (04年度)	▽決勝 鹿	実 0−0 市船橋 (PK4−2)	(千葉)
84回 (05年度)	▽決勝 鹿	実 1−2 野洲 (延長)	(滋賀)
85回 (06年度)	▽準決勝 神	村 0−1 作陽	(岡山)
86回 (07年度)	▽2回戦 鹿	実 0−3 宮城工	(宮城)
87回 (08年度)	▽決勝 鹿 城西	2−3 広島皆実	(広島)
88回 (09年度)	▽準々決勝 神	村 0−4 青森山田	(青森)
89回 (10年度)	▽1回戦 神	村 1−4 前橋育英	(群馬)

第89回全国高校サッカー選手権鹿児島県大会決勝・神村学園−鹿児島城西。全国大会出場を目指し、熱戦を繰り広げる両イレブン＝2010年11月7日、鹿児島市の県立鴨池陸上競技場

1回戦から得点、得点者を速報

南日本新聞社は、全国高校サッカー選手権鹿児島県大会の試合を1回戦から有料携帯サイト（月額315円、税込み）で速報します。ゴールが決まるたびに両チームの得点を表示。前後半終了時には得点者の名前をアップし、勝ち上がり表も掲載します。ご利用ください。

携帯サイト 373mobile.com